

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27.5℃台を示し、やや高い～かなり高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年並み）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり83kgの水揚げで、前週を下回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり1.1トンの水揚げで、前週の35%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり86kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、トビウオなどが1日1統当たり863kgの水揚げ。北松生月地区では、トビウオなどが1日1統当たり2.8トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり207kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり41kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり98kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり39kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日1統当たり129kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- トビウオ船曳――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり623kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/20～9/25）6日間、沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣船 4日延38隻入港、総計3,153箱、1航海最高307箱、平均83箱、ケンサキ（2立～4立入）。

〔お知らせ〕

漁海況通信「小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果③」をホームページに掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>